

01

AUG 2011 VOL.01

Monthly Photographer

SAKAE KITaura

～大阪天満宮～

特集

わたしのLOVE ITEM

今月の機材

スーパークランプ



カオス本

Digital Photo Magazine By CAOS



CAOとは（The Click Association of Osaka）の頭文字をとった
ものです。広告写真制作社協会（関西）と二つの名称を持つ、
任意の団体です。

広告写真を事業としてとらえることで、新たな業態の確立
そして社会・文化への貢献を目指し1990年にスタートしました。

広告写真制作社協会（関西）
The Click Association of Osaka
<http://www.cao.gr.jp/index.html>



CAOSとは、CAO 広告写真制作社協会（関西）の若手による、
任意の団体です。

写真という表現を通して、社会・文化への貢献を目指し活動
しています。

カオス本 01



カオス本 第01巻

不定期発刊電子書籍

発行人：CAOS 事務局

TEL：06-6964-1888

FAX：06-6964-1889

Contents

P.03 News&Event 情報
300DOORS-WorkShop
「ワタナベカメラ展」
若木信吾写真展「Landscape」

P.04 Monthly Photographer
北浦 栄
KITAURA SAKAE
フォトリエやるく

P.21 私のLove Item
～サクラクービー～
著・アッキーナ

P.22 今月の機 
スーパーランプ
著・七彩工房

NEWS&EVENT CHECK NOW !!

300DOORS WORKSHOP LINE-UP

インターナショナルワークショップフェスティバル
[300 DOORS] <http://www.iwf.jp/>

今年5周年を迎えるインターナショナルワークショップフェスティバル「300DOORS (ドアーズ)」は、何かを作り出すおもしろさや、自分自身で体験する楽しさをもっとたくさんの人に知って欲しいという思いから「誰もが気軽に参加できること」を大切に市民参加型プロジェクトです。古典芸能からポップカルチャー、最新アートなど「ちょっと興味がある、一度やってみたかった」といったニーズに応える多彩な体験型講座を集積させた「ワークショップの見本市」として、300種類の講座をラインナップしています。

会期) 2011年7月16日-8月9日

会場) 7月16日・17日 / 大阪市役所 アクセス

7月18日-31日 / 大阪市立芸術創造館/旭区民センター アクセス

7月22日-24日 / 東急ハンズ梅田店 アクセス

8月1日・2日 / 芝川ビル アクセス

8月3日-5日 / 大阪市中央公会堂 アクセス

8月6日-9日 / メビック扇町 アクセス

時間) 1講座 90分

参加費) 1講座 500円 (別途、材料費等がかかる場合があります)

フィルムで撮ったら、レンズで焼く会
『ワタナベカメラ展』



店の入口に「フィルムで撮ったら、レンズで焼く」の文字が掲げられた「ワタナベカメラ」は、かの写真家・荒木経惟にも「ナベカメさん、素敵」と、そのプリントの綺麗さをお褒めいただいたアナログ銀塩カラープリントにこだわる町の写真屋さんです。「ワタナベカメラ展」は、そのプリントを愛し、足しげく通うワタナベカメラのお客さん & スタッフ総勢 25 人による写真展です。もちろん、写真は『何が写っているか』が大切なのは言うまでもありません。でも、そのプリント方法・色・品質も写真を形作る大切な要素といえます。

フィルム好きの方には「フィルムならではの」魅力を、デジタルカメラユーザーの方にも、今一度、フィルムの魅力を。そして、その作品を支えてくれているワタナベカメラの魅力を感じていただければ幸いです。

日時) 2011年8月2日(火) ~ 8月14日(日) 11:00-19:00

※ 8月8日(月) 休廊

※ 1週目と2週目で展示内容が変わります

会場) NADAR/OSAKA

〒542-0081

大阪市中央区南船場 3-2-6 大阪農林会館ビル B1F

HP) <http://nadar.jp/>



若木信吾写真展

「Landscape」 <http://www.shingowakagi.net>

若木信吾が今まで訪れた世界・日本各地で撮影してきた膨大な写真の中から選んだ手札サイズ、キャビネサイズの写真40点を展示販売いたします。作家自身がとても気に入っているこれらの貴重な写真は、全て1点ものです。若木信吾が見てきた各地のランドスケープを、凝縮された小プリントの中でご堪能ください。

日時) 2011年7月22日(金) ~ 8月14日(日)

12:00 ~ 19:00 (最終日 ~ 17:00)

休廊日 (月・火曜日)

会場) Bloom Gallery

〒532-0025

大阪市淀川区新北野 1-11-23 ハイム北野 B103

阪急十三駅西口より徒歩約8分。

HP) <http://www.bloomgallery103.com/>

MONTHLY PHOTO



SAKAE KITaura
~大阪天満宮~

































北浦 栄

SAKAE KITAURA

フォトリエやるく

1972年 大阪生まれ

1996年 ビジュアルアーツ専門学校入学

1998年 株式会社フォトブティックノン入社

2007年 フォトリエやるく設立

私のLove Item

サクラクーピー編

●サクラクーピー

色鉛筆がシンボした書きやすさと、クレヨンの持つ発色の美しさを生かした消しゴムで消せるタイプのカラーペンシル。落としても容易に折れない。絵日記やグラフ、イラスト等学習用から専門デザイナーの方まで幅広い使い方ができます。

サクラクーピー
ペンシル
COUPY
フランス語が革命・打撃の意
スキ
Suki

● 憧れのクーピー ●

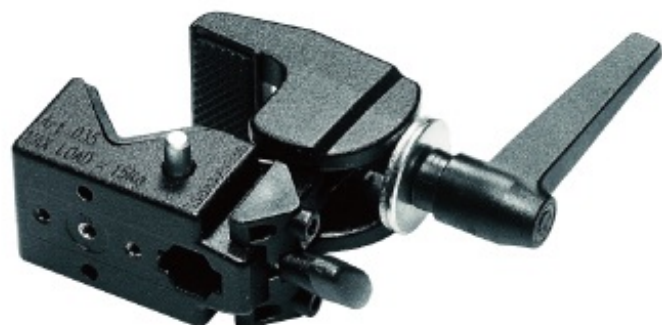
2011年。はじめて MYクーピーをもちました。
はじめてだけどオトナなので大人買い？全色 60色 SET。
幼い頃からつかっている人も多いと思うけど、
今の今まで私の！クーピー！はいなかったわけです。

私は絵を描く事 スキ。
クーピーの香り スキ。
缶の中でなる音 スキ。

こんなにも色があるのか、と、
たくさんの色イロにウキウキ。
削りカスの姿、魅惑的。
クーピーで絵の色をぬりぬりしました。

サクラクレパスさんは今年、創立 90 年の大阪の
メーカーさん！ OSAKA なのですね。
記念の 90 色 SET を発売するそうだ。
いったい +30 色はどんな色イロなのだろう。

スーパークランプ(フック付)



クランプ単体



フック付き

Manfrotto スーパークランプ 035

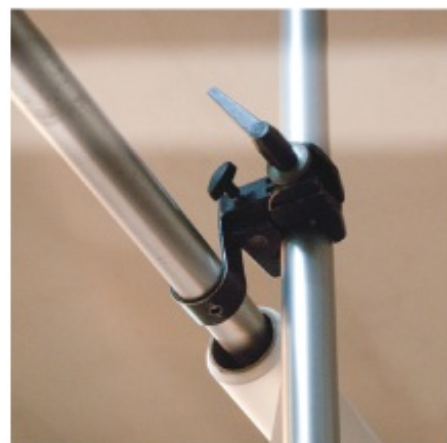
Manfrottoのスーパークランプは人間工学に基づいて開発されており、安全にしかも確実にロックができる。

これらは非常にシンプルで多用途のライトグリップで、スーパークランプにより好みの場所に固定できる。クランプは滑り止め加工が施され、ネジで固定。セカンダリセーフティロックシステムを備えた六角ソケットが、ネジが締まっていなくてもしっかりとホールドすることができる。また、クランプ部の表面はくさび状の加工が施されている。撮影シーンで便利なクランプ。エルゴノミックレバーにより、確実に機材をホールドします。

素材はアルミニウムでできており、これ自体の重さは0.14kg。色はブラックの一角のみが展開されている。1つで約15kgの耐荷重がある。クランプ口径が最小13mm、最大で55mmまで広げることが可能。

組み合わせとして上下の角度を任意に設定でき、更に中間にアンブレラも取付け可能でアンブレラホルダーとしても使用できるマルチクランプや、クイックスタックシステム採用により複数のスタンドを簡単に連結可能で容易な運搬とコンパクトな収納を実現しているランカースタンドなどが使われる。

撮影の使用例



オートボールに取り付け、フック部分にボールをかけてバック紙を吊るしたりヒモを引っ掛けたりすることができる。

モデル・家具など比較的大きい被写体撮影時に使用する事が多い。



ストロボのヘッドを取り付ける事も可能だ。普段スタンドでは下がりきれない低い位置へのライティング時に重宝する。

ベテランカメラマンがどや顔で使用している光景をよく目にする。



フックを下に向ける事によりパネル・壁などを固定するアイテムに早変わりする。

背の低いアシスタントが苦勞する率が最も高い。是非、セット撮影の立会い時には注目して頂きたい。

撮影で毎日活用されている『スーパーランプ』だが、以外に日常生活でも活躍する事はあまり知られていないのではないだろうか？ ごく一部だが皆さんにご紹介したい。

ブックスタンド



持たずに本が読める使用方法。
料理中・寝転びながらetcが便利

鮮度キーパー



調味料やお菓子など用途は様々。
力強いのが魅力

一輪挿し



黒のボディが一層花の美しさを引き立てます

携帯スタンド



着信・メール・アラームも枕の下を探す事無く
素早く取り出せます

尿意ストッパー



ハンズフリーで尿意
をシャットアウト！
見た目も紳士的で欧
州諸国では新たなマ
ナーとして流行中



オプション機能



フックに彼女の
荷物をかけ
る事で、我慢
しながら手も
繋げ一石二鳥

カメラマンは勿論、一般の方にも魅力的だったのでは無いだろうか。
是非一度この感動と快適を味わって頂きたい。 次号は『スタンド』お楽しみに☆